



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年12月4日朝刊 西部版

緑茶色のひもでシトラス
リボンを作る児童
＝掛川市の大坂小

新型コロナ 偏見なくそう



大坂小5年生が製作

シトラスリボンは感 え合う地域にしようと
感染症者への誤解や偏 愛媛で始まった運動。
見をなくし、誰もが支 市は地元福祉施設と連

掛川市立大坂小の5年生25人が3日、新型コロナウイルスへの正しい理解を
呼び掛ける「シトラスリボン」の製作に取り組んだ。市の普及プロジェクトの
一環。自分が身に着けたり周囲に配ったりして活動を広めていく。

シトラスリボンで啓発

誰もが支え合う地域へ活動

携し、特産の緑茶色の
リボンを配るプロジェ
クトを進めている。大
坂小は学校ぐるみで協
力している。
児童たちは市の担当
者から運動の説明を受
けた後、各自配られた
ひもを三つの輪ができ
るように結んでリボン
を作った。結び方はや
や複雑で互いに教え合
いながら取り組んだ。
高橋嬉多さんは「難
しいけれど、思いが込
められている結び方だ
から楽しかった」と話
し、荒瀬斗君は「リュ
ックに付けて、家族に
も意味を教えたい」と
力を込めた。
結び方は市ホームペ
ージで公開している。
(掛川支局・宮坂武司)

①児童が製作した「シトラスリボン」は何を呼び掛けるものですか。

()

②「シトラスリボン」の運動はどこで始まりましたか。()

③児童が製作した「シトラスリボン」が緑茶色をしているのはなぜですか。

()

④児童は「シトラスリボン」の活動をどのように広めていきますか。

()

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／道徳、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年12月4日朝刊 西部版

緑茶色のひもでシトラス
リボンを作る児童
＝掛川市の大坂小

新型コロナ 偏見なくそう



大坂小5年生が製作

シトラスリボンは感 え合う地域にしようと
感染症者への誤解や偏 愛媛で始まった運動。
見をなくし、誰もが支 市は地元福祉施設と連

掛川市立大坂小の5年生25人が3日、新型コロナウイルスへの正しい理解を
呼び掛ける「シトラスリボン」の製作に取り組んだ。市の普及プロジェクトの
一環。自分が身に着けたり周囲に配ったりして活動を広めていく。

シトラスリボンで啓発

誰もが支え合う地域へ活動

携し、特産の緑茶色の
リボンを配るプロジェ
クトを進めている。大
坂小は学校ぐるみで協
力している。
児童たちは市の担当
者から運動の説明を受
けた後、各自配られた
ひもを三つの輪ができ
るように結んでリボン
を作った。結び方はや
や複雑で互いに教え合
いながら取り組んだ。
高橋嬉多さんは「難
しいけれど、思いが込
められている結び方だ
から楽しかった」と話
し、荒瀬斗君は「リュ
ックに付けて、家族に
も意味を教えたい」と
力を込めた。
結び方は市ホームペ
ージで公開している。
(掛川支局・宮坂武司)

- ①児童が製作した「シトラスリボン」は何を呼び掛けるものですか。
(**新型コロナウイルスへの正しい理解を呼び掛ける(もの)。**)
- ②「シトラスリボン」の運動はどこで始まりましたか。(**愛媛(県)**)
- ③児童が製作した「シトラスリボン」が緑茶色をしているのはなぜですか。
(**お茶が(掛川市の)特産だから。**)
- ④児童は「シトラスリボン」の活動をどのように広めていきますか。
(**自分が身に着けたり周囲に配ったりして活動を広めていく。**)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/道徳、総合)